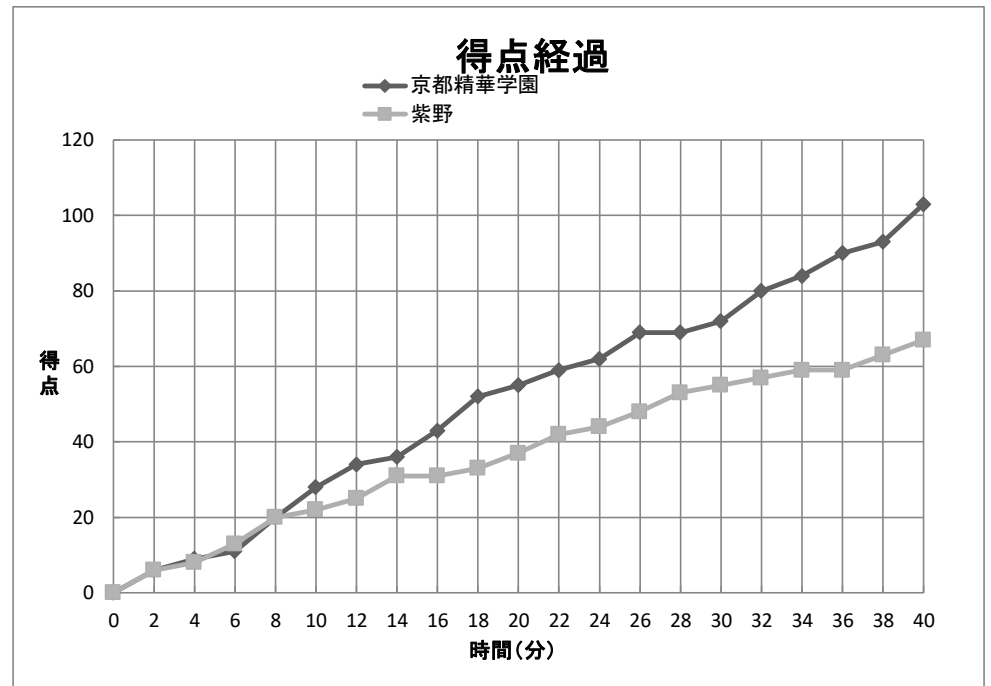


第38回京都府高等学校選手権大会 兼
第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

女子		平成30年11月10日 12:30 開始																	
決勝		ハンナリーズアリーナ M																	
◎ 京都精華学園 103		<table border="1"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>22</td></tr> <tr><td>27</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>31</td><td>4th</td><td>12</td></tr> </table>				28	1st	22	27	2nd	15	17	3rd	18	31	4th	12	67	紫野
28	1st	22																	
27	2nd	15																	
17	3rd	18																	
31	4th	12																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
* 4	石島 侑果	9	3	0	0	1	* 4	澤岡 夢乃	16	4	1	2	-						
* 5	山本 静花	5	1	0	2	2	* 5	中原 涼那	11	1	1	6	4						
6	室井 愛生	0	0	0	0	1	* 6	松本 晏奈	3	1	0	0	3						
* 7	渡邊 夕凪	0	0	0	0	1	* 7	阪本 咲希	16	0	8	0	-						
8	竜崎 まなつ	0	0	0	0	1	8	阪本 真希	2	0	1	0	2						
* 9	高橋 未来	24	1	9	3	2	9	野下 瑞希	-	-	-	-	-						
10	松尾 祥花	8	2	1	0	3	10	萩田 歩	-	-	-	-	-						
11	関 瑞葵	0	0	0	0	2	11	金沢 景	-	-	-	-	-						
12	白石 あゆみ	4	0	2	0	2	* 12	吉村 朋子	15	0	3	9	4						
13	川原 和	2	0	1	0	-	13	東 史野	4	0	2	0	2						
14	下間 ほのか	0	0	0	0	-	14	原 菜紘	-	-	-	-	-						
* 15	A. ラリヤ	6	0	3	0	-	15	定久 真奈	-	-	-	-	-						
16	山下 このは	0	0	0	0	1	16	青木 遥	-	-	-	-	-						
17	萩田 美	36	6	7	4	1	17	中原 百望	0	0	0	0	2						
18	柴田 柚菜	8	0	3	2	3	18	松浦 萌乃	-	-	-	-	-						
コーチ	山本 綱義						コーチ	吉田 聡											
Aコーチ	町田 瀬名						Aコーチ	森蔭 美菜璃											
合計		102	13	26	11	20	合計		67	6	16	17	17						
主審: 富島 健司 第1副審: 加藤 毅 第2副審: 片山 雄一郎																			



〔戦評〕

ゲームは京都精華の留学生#15のゴール下シュートから始まる。京都精華はマンツーマン、紫野はハーフコート1-2-2のゾーンディフェンスでスタート。インサイドアウトを使ったハーフコートオフェンスや速攻で攻撃する京都精華に対し、紫野は、#5#7の1on1や、ピックからの3Pで得点を重ねる。両者激しいディフェンスとリバウンドの攻防が続き残分2で20-20。残分2分の1、京都精華#9が上手く時間を使得って得点し、28-22京都精華リードで終了。

第2Q、残分8、京都精華#17の3P、#10の3Pで34-22となり、紫野はたまたずタイムアウト。巻き返したい紫野は、ピックからキックアウトで#4の3P、#12のオフェンスリバウンドなどで得点し、36-31まで追い上げる。しかし、京都精華の激しいディフェンスで紫野はタフショットが続く。その間に京都精華#17の3本の3Pを含めた速い攻撃で、55-37と点差を広げて前半終了。

第3Q、後半のファーストショットは、京都精華#9のドライブジャンプシュート。しかしすぐさま紫野が取り返す。紫野は、1-2-2のラインを上げてディフェンスで仕掛けに出る。対する京都精華もオールコートマンツーマンで応戦。紫野は、#12の果敢なドライブやリバウンド、ルーズボールで少しずつ得点を積み上げる。しかし、京都精華は慌てることなく#9のアシストなどで得点を重ね、72-55で終了。

第4Q、またしても京都精華#9のドライブから始まり、#4の3Pと立て続けに得点し、紫野はタイムアウト。しかしその後も京都精華の勢いは止まらず、点差を縮められない。残分3、京都精華#17の本日6本目の3Pで紫野は3つめのタイムアウトをとるも試合終了。103-67で京都精華学園高校が3年連続8回目のウインターカップ出場の切符を手にした。

記録: 南陽高校

戦評: 富山 唯〔京都府立桂高等学校〕